

AI活用の差は、 経営判断の 差だ。

学ぶだけでは終わらない。
診断から小さな実践まで、
経営者の挑戦を支える。

日程 2026年9月~
2027年2月(予定)

参加費 無料

定員 10社

なぜ今、
経営者がAI/DXに
向き合うのか



課題

- ✕ AIを導入しても、
成果につながらない
- ✕ DXを進めても、
現場任せで止まる
- ✕ 何を変えるべきかが
定まらない

解決

本当に必要なのは、
自社のどの課題に向き合い、
何を変えるのかを決める

経営判断です。



みやぎAI経営未来塾とは

学ぶだけでは終わらない、実践まで進む。

みやぎAI経営未来塾は、経営者自身が自社課題を見極め、DXビジョンを描き、小さな実践まで進める10社限定のAI/DX実践プログラムです。

- 01 課題の特定
AI/DX診断で
現状を可視化
- 02 ビジョン形成
何のために何を
変えるかを定める
- 03 小さな実践
小さく試して
成功体験を積む
- 04 成果プレゼン
社員の皆さんに
これからを宣言

このプログラムの3つの強み

- 01 自社課題を可視化
AI/DX診断とヒアリングで、
業務のボトルネックや
変えるべき課題を整理します。
- 02 経営判断をビジョン化
単なる施策一覧ではなく、
経営者の意思が入った
DXビジョンを形成します。
- 03 小さな実践
シミュレーションで終わらず、
具体的な課題解決を
ひとつ実証します。

このプロジェクトを受けると、どう変わるのか？

半年後、AI/DXで取り組むべき課題と、
次の打ち手を決められる経営者に。

診断で自社の課題を整理し、勉強会でAI/DXの使いどころを学び、
小さく試すことで、事業終了後に何を続けるべきか、何に投資すべきかを判断できる状態を目指します。



実施期間 2026年9月~2027年2月(予定)

対象 宮城県内の中小企業(経営者・後継者・経営幹部)

申込みフォームはこちら



- AIに関心はあるが、自社で何から始めるべきか決めきれていない
- DXを現場任せにしてきたが、思うように進んでいない
- 人手不足や属人化、業務効率化に対して具体的な打ち手を探している
- 自社の課題を整理し、AI/DXを経営判断につなげたい
- 学ぶだけではなく、実際に成果を出したい
- 会社を変える一歩を、自分たちで踏み出したい

診断から実証、決意表明まで。共通の学びと個別伴走を組み合わせ、実行まで進めます。

DXビジョン、PoCの結果、今後の展開方針を整理し、次の経営判断につなげます。